

【資料3】

令和3年度第3回
日野市介護保険運営協議会

日野市住民主体による介護予防・ 生活支援サービス事業B型立ち上げ 進捗報告

健康福祉部高齢福祉課
在宅サービス係

本日は話すこと



1. 日野市介護予防・生活支援サービス事業B型について

2. 立ち上げに向けた動き
手引き作成ワークショップ・講演会

3. 活動団体及び立ち上げ検討団体

4. 今後のスケジュール

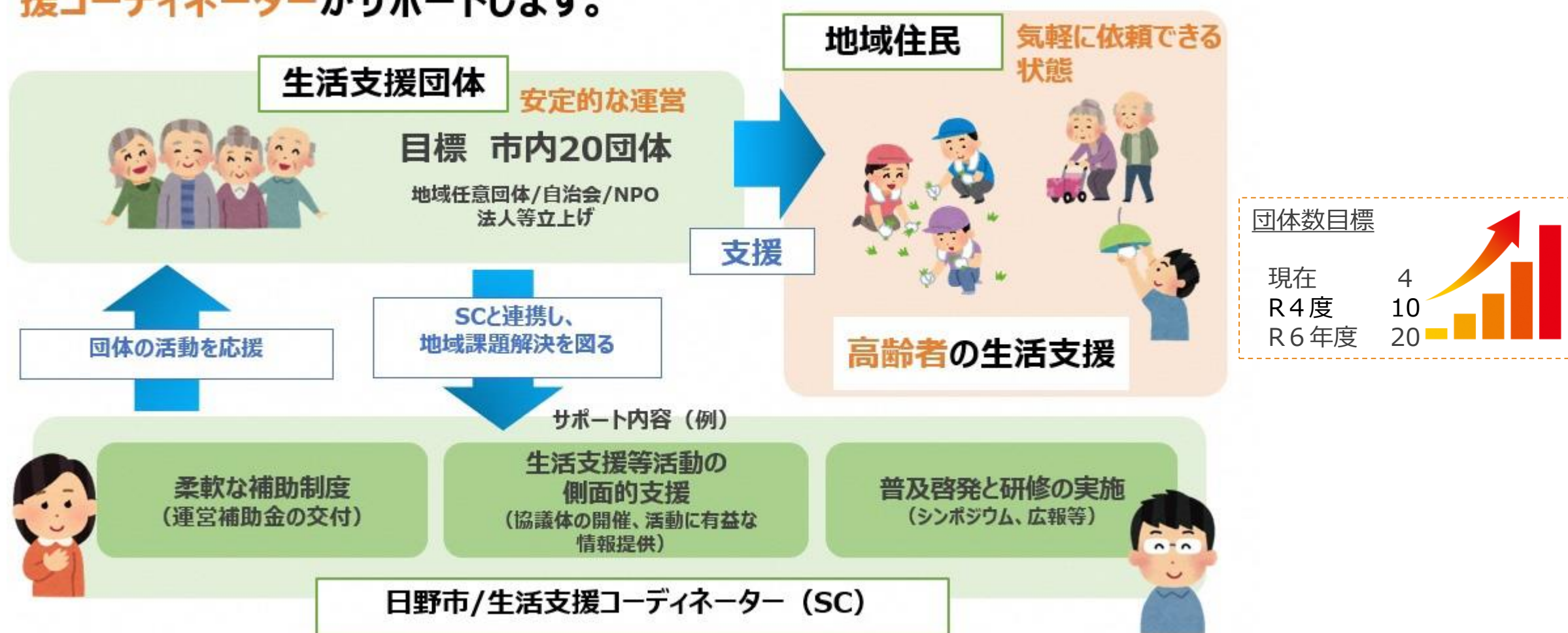
1-1.住民主体による介護予防・生活支援サービス事業について

自治会や地域有志の団体、NPO法人など、地域で活動する住民主体の団体が、主に在宅で暮らす高齢者に対して、日常生活におけるちょっとした困りごとのお手伝いやその他の生活支援のサービスを行う事業。

(ちょっとした困りごと例) 電球交換、庭の清掃、家具の簡単な組立・修理、お買い物代行、家事手伝い、通院同行、パソコンやスマホ操作補助 など

市は、困りごと支援の活動のほか、生活支援体制整備事業と連動し、地域課題や認知症の人やその家族に対して生活面の支援を行う取組み等追加の活動に対して、補助を行います。

●生活支援団体や地域住民が自主的に活動が行えるように、市・生活支援コーディネーターがサポートします。



1-2.補助の内容と補助額

サービスB型（訪問型、通所型、配食支援や認知症の取組み、地域ケア会議や生活支援体制整備事業から見えた地域課題の取組み など）、一体的に展開していくための支援を行う。

	生活支援サービス類型	サービス名	住民主体活動支援補助対象経費		補助額
【必須活動】 基準額	訪問型	生活支援	事務経費 人件費	事務作業及び利用者とのサービス調整にかかるコーディネート等にかかる経費（人件費、物品購入費、印刷費、交通費、光熱水費、通信費、賃借料など） 例）住民主体で住民の困りごとを支援する活動 ・電球のとりかえ、買物支援、掃除、調理 など	40,000円/月
【追加活動】 補助額 ※2事業まで ※選択しなくても よい	通所型	いきいき活動	事務費	フレイル予防・介護予防事業に取り組む団体への加算 活動規模各回5人以上、活動希望者を排除せず受け入れること、運動・栄養・口腔機能向上に資する活動 ラジオ体操、ひの筋体操等運動の種類は問わない。 ※社会福祉協議会の地域介護予防活動支援事業の立ち上げ補助交付団体も交付可能	5,000円/月
	その他生活支援	地域課題に関する取組み	事務費	生活支援体制整備事業と連動し、地域課題の解決を目的とし、創意工夫した活動に対する加算。生活支援コーディネーターと連携する 例）地域ケア会議や協議体から生まれた地域課題に対応する活動 ・外出した際にちょっと休憩できるベンチづくり ・発災時、ペットと一緒に避難するためのポイントをまとめたペット手帳の作成・配布 ・大学と連携した高齢者支援事業 など ・地域の居場所運営 ※活動頻度は月2回以上 ※サロン、居場所補助金等他補助金交付団体は対象外	10,000円/月
		チームオレンジ	事務費	日野市認知症高齢者支援(高齢者虐待防止対策)事業と連動し、認知症の人や家族に対する生活面の支援を行う取組みに対する加算。チームオレンジの立ち上げや運営支援等を行うコーディネーターやチームリーダー必置。登録者とボランティア(ステップアップ研修受講必須)をマッチングし、登録者を支援する取組み。認知症地域支援推進員と連携する ※活動頻度は月1回以上 例）地域で暮らす認知症高齢者やその家族の支援ニーズに供する活動 ・活動拠点にてコーヒーを出すなど認知症高齢者に役割を担っていただく仕組みをつくる ・高齢者の買い物に付き添い、商品選びや支払いの支援を行う	5,000円/月
		配食支援	事務費	利用者宅へ定期的に訪問し、栄養改善を目的とした配食と同時に見守りを行う活動 ※活動頻度は月に2回以上 高齢者10人以上	10,000円/月

★前回の報告との違い

→R2年度新型コロナ影響下の高齢者実態調査から見えたニーズや市の配食事業の柔軟化のため、“配食支援”を追加

2.立ち上げに向けて

住民主体の生活支援サービス立ち上げに向けて、なぜ生活支援サービスが必要なのか、住民のネットワークができるとどんないいことが起きるのか、ネットワークを作るコツ、市の補助事業の概要を伝え、活動への意識の啓発や補助事業の周知をワークショップや講演会を通して、行いました。

- サービス立ち上げのための手引き作成ワークショップ
- 生活支援体制整備事業講演会

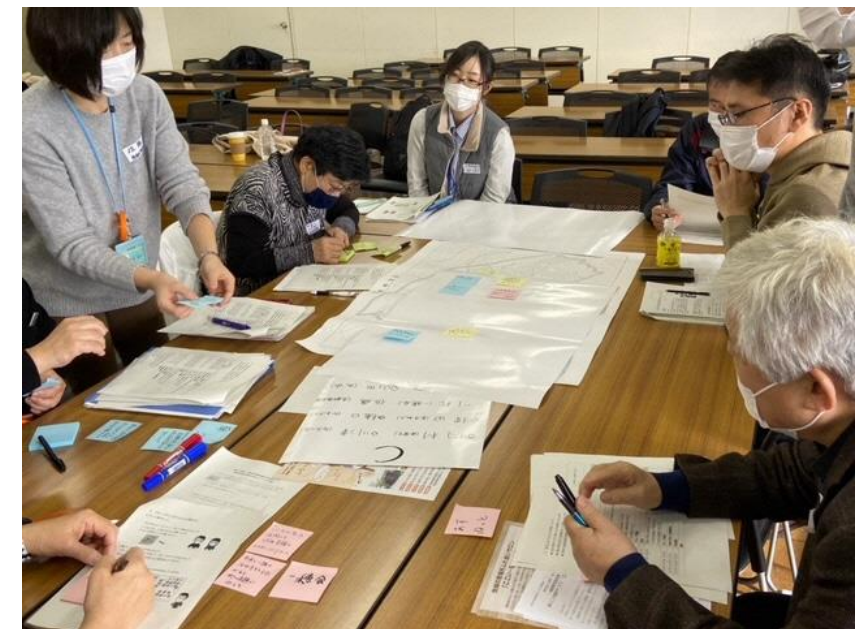
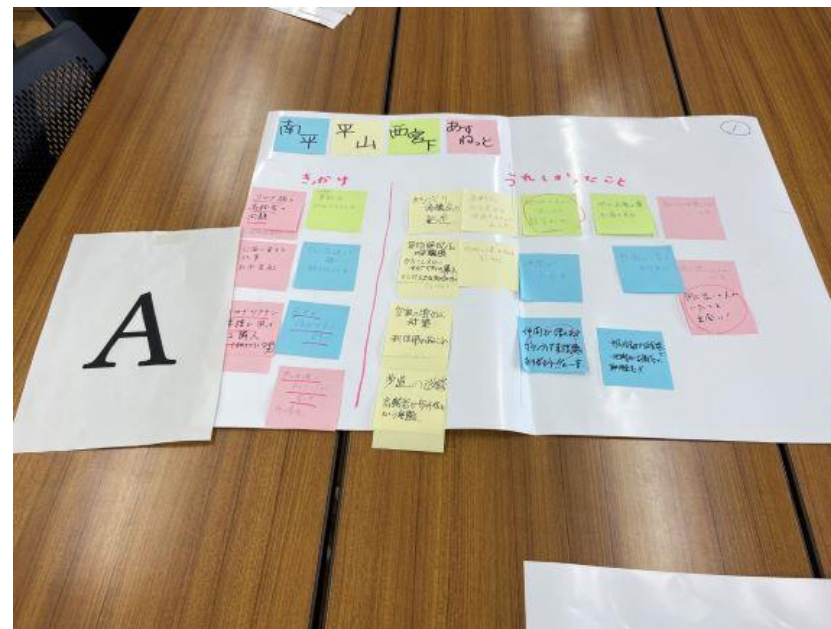
2-1.手引き作成ワークショップ

令和4年度からの事業の開始に向けて、東京ホームタウンプロジェクト（東京都福祉保健局）のプロボノチームの協力のもと、包括の第2層生活支援コーディネーターにも参加いただき、市と社協（生活支援体制整備事業委託）がすでに活動している団体へヒアリングし、活動の参考になる手引きを作成しています。

課題	「日野市 介護予防・日常生活支援総合事業サービスB（住民主体の自主活動として行う生活援助等）」 令和4年度立ち上げ～対象団体拡大に向けた体制整備
目的	①日野市における、住民主体の生活支援サービス団体の立ち上げ支援 ・支援団体に対して →活動立ち上げ・実施の参考となる情報の提供 ・支援団体の活動をサポートする市/社協/生活支援コーディネーターに対して →団体へのサポートにあたって提供する制度・情報の一元化 ②団体の横のつながりを生み、相互に支え合いながら市全域で展開を図る
成果物	住民主体の生活支援活動スタートガイド(仮)

2-2. 支援団体とのワークショップ概要

日時・場所	令和3年11月27日 13:00-15:00 日野市役所505会議室
参加者	平山困りごとお助けクラブ(平山)、NPO法人あす・ねっと(大坂上) 南平地区社会福祉協議会(南平)、西宮下自治会(東平山) + 日野市高齢福祉課、日野市社会福祉協議会、各地域包括支援センター + サービスグラントプロボノワーカー
形式	3グループに分かれ、以下の内容でグループディスカッション・発表を実施 テーマ①: 団体発足・活動参加のきっかけ、これまでの活動で嬉しかったこと テーマ②: これまでの活動で大変だったこと、これからの活動で不安なこと



2-3. 支援団体とのグループディスカッション結果

① 団体発足・活動参加のきっかけ

→ エピソードを成果物に含め、支援団体のモチベーション向上に繋げることを目指します。

< 主な回答 >

地域貢献	地域の運動会への参加 自分にも何かできるかも 市の制度とタイミングが合った 地域の役に立ちたい
課題解決	買い物難民化の克服、グリーンスローモビリティの導入 歩道の改修、住みやすい街に コロナ禍と高齢者の問題 認知症の進行
他者からの勧誘	社会福祉協議会からの呼びかけ あすねっとの強力な山本さんに声をかけられ「この人となら！」
自己実現	70歳になったのを機に好きなことを
他者との繋がり	地縁を持ちたい、地域の人とつながりたい

2-4. 支援団体とのグループディスカッション結果

①これまで嬉しかった事

→エピソードを成果物に含め、支援団体のモチベーション向上に繋げることを目指します。

<主な回答>

喜び・感謝	ボランティア実践後にありがとう！の一言 地域の人とのあいさつ 顔合わせ
課題解決 地域の活性化	助けが必要な人がいる 独居の方の居場所づくり ゴミ屋敷の整理
スタッフの増加	仲間が増えた！ 同じ思いの人がいたこと 出会い！
利用者の 継続・増加	回覧したら、今まで知らない人が参加してくれた(若い人) サービスが順調に継続できている(3年)
認知度の向上	知っていると言われたこと

2-5. 支援団体とのグループディスカッション結果

②これまでの活動で大変だったこと、これからの活動で不安なこと

→先行事例・ノウハウを成果物にまとめることで、活動開始の後押しを目指します。

<主な回答>

活動内容	地域ニーズ、対応者の参加見込みの把握(アンケート実施) 活動内容の決定(テーマ・企画、サービスの幅・深さ)、団体内の合意形成 活動拠点づくり、成果の可視化
募集	スタッフの確保 依頼・参加の促進(周知活動:回覧、ポスティング)
マネー	価格設定(無償or有償) 資金調達(資金援助、補助金)
運営・管理	団体内の役割分担、ルール作り 個人情報管理、連絡方法(LINE等) トラブルの対応
共創	他地域団体との連携
活動継承	後継者不足、世代交代

2-6. ワークショップ後の団体アンケート結果

・座談会に関する感想

他団体の問題意識、活動内容が聞けてよかった。今後の活動に活かしていきたい

☹️ 時間が足りなかった、事前に内容をお知らせしてもらいたかった

・今後の活動に活かせそうな他団体の事例

😊 ルール・手順作り、周知の仕方を学んでいきたい

😊 課題を持ち取り組む姿勢は大いに参考になった

・今後の成果物で、載っていると支援団体が助かる内容

😊 協働できる企業、市民の志ある人、団体のリスト

😊 ボランティア協力者の声や意見

😊 よくある失敗例・成功例

😊 具体的な支援の内容、実績、コツ

→これらの点を手引きに盛り込む

2-7.2層コーディネーター(包括) との意見交換

- 制作物については前向きに捉えて頂き、取り入れるべきポイントを伺いました。
- 他に「体制(役割)」、「制作物の活用方法や、団体を増やす仕組みづくり」についても意見を頂きました。

<主な回答>

成果物作成方針について	ガイドがあると、コーディネーターとしても助かる 団体へのサポートは現状、暗中模索。不明な点は都度聞き回っている 市も人が入れ替わることから、基礎資料は必須
成果物に盛り込むべきポイント	補助金の一覧 はじめにどうして助け合いが必要になったか、人口や財源について
その他	手を挙げた人を2層コーディネーターが支援するというかたちでないと難しい、何もなければ2層コーディネーターは動けない 手引きを配る先が思い浮かばない、シンポジウムのような場で発表が必要

2-8.手引き 目次案

はじめに

1. 住民主体の生活支援サービスを始めるにあたって

1.1 日野市住民主体の生活支援サービスとは？

1.2 日野市で住民主体の生活支援サービスが必要とされる背景

1.3 住民主体の生活支援サービスの提供者・利用者の声

2. 活動を開始するまでのステップを見てみよう

2.1 活動を再開するまでのステップ全体像(運営を開始するまでに必要なこと)

2.2 各ステップの詳細

ステップ①まずは基盤づくり

ステップ②活動内容を決めよう

ステップ③各種申請をしよう

ステップ④広報活動をしていよいよ活動開始！

3. 困ったときのお助けガイド

4. 日野市で活動を行っている団体一覧

4.1 団体一覧

4.2 交流会の案内

5. お役立ち資料集

5.1 各種申請書・リンク集

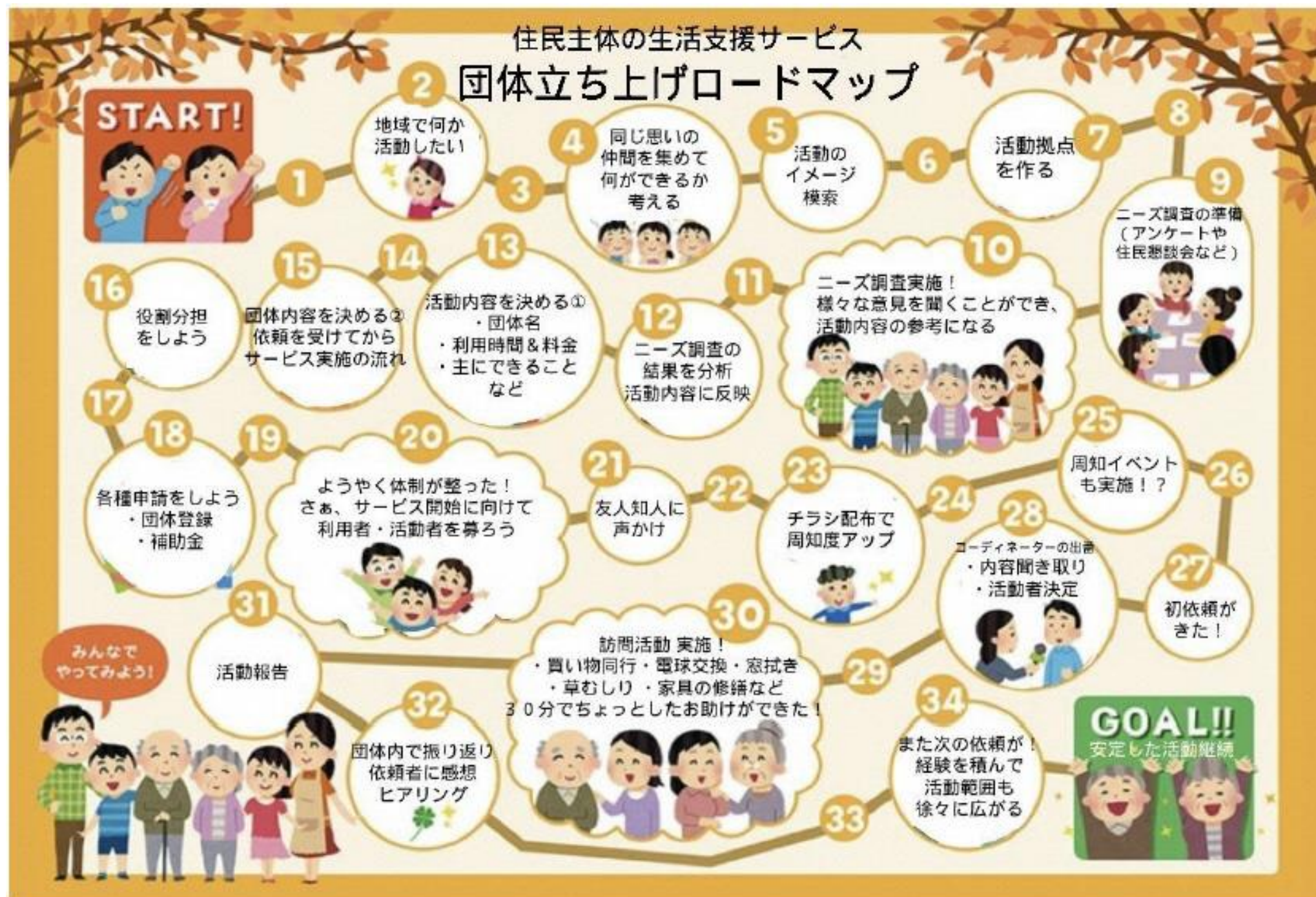
5.2 サービス利用者向け: サービス利用申請テンプレート

5.3 民間サービス事業者情報

2-9. 手引き 活動立ち上げロードマップ

準備段階から立ち上げまで、イメージがわくように一連の流れをすごろく形式にして活動をこれから立ち上げる人にわかりやすく伝えます。

東京ホームタウンプロジェクトのプロボノチームのアイデア！



2-10.手引き ページイメージ

各ステップの項目と簡単な説明文を掲載 + ワークショップで伺った既団体の参考例
デザインに力を入れ、読みやすく、すでに活動している方々の声を入れることで活動の第
一歩が踏み出せる、活動したいと思っただけの内容にします。



2-11. 戦略的おせっかい ～あなたのおせっかいで地域を笑顔に！～

実施の背景	高齢社会を迎え、介護保険制度だけでは地域に暮らす高齢者を支えることが難しい時代を迎えている。そのため、地域住民自らが地域住民を支える体制を整備することが急務となっている。
イベントの目的	住民同士の助け合いによる生活支援サービス活動の必要性について理解していただき、地域づくりを進める活動に関わるきっかけとなるようにする。
イベント概要	<p>第1部: 萩原先生から、地域における支え合いの必要性や地域づくりを進めるコツについて講演</p> <p>第2部: 日野市で活動している団体からの事例報告 令和4年度から開始予定の総合事業B型の事業概要説明</p> <p>日時: 令和3年12月7日(火)13:00～15:00 場所: イオンモール 多摩平の森 3階イオンホール 講師: 立教大学社会学部教授 萩原なつ子氏 登壇者: 平山困りごとお助けクラブ 川崎和彦氏 わんわん見守り隊 地域包括支援センター多摩川苑 福田夏織氏 日野デリバリーカー ソーシャルキャピタル共創機構 酒井可奈子氏 日野市高齢福祉課在宅サービス係 地下 参加者 約80名の方にご参加いただきました(会場+オンライン)</p>

2-12.講演会の結果・感想

・参加のきっかけを教えてください

- 😊これから地域(誰か)のために役に立ちたいから
- 😊現在行っている活動のヒントを得たいから

・現在行っている活動がある方はその活動を教えてください

- 😊サロンなどの交流・居場所づくり
- 😊高齢者・障害者への家事援助
- 😊福祉施設での介助支援
- 😊子ども・児童など保育活動
- 😊自治会などへの参加

・活動を行う上で、課題となっていることは何ですか

- 😞お金、財源がない
- 😞活動場所がない
- 😞いっしょにできる仲間がない

・その他の声

- 😊困りごと支援は必要なことであり、支援していきたい
- 😊わんわん見守り隊など地域で行っている活動やその課題を知ることができ良かった
- 😊目的を持って地域のために働くことがすばらしい。若い力を引き込んでやってみたい
- 😊活動の名前は知っていても内容は外から見てわからなかったなので、大変参考になった
- 😊地域を作りたいとの思いの強さに頭が下がりました。今後の活躍が楽しみです！

→参加者の方からも刺激になった様子が伺えました。

3-1.活動団体

R4.1月時点

活動を始めている団体

●NPO法人あすねっと

団体名	困りごと相談サービス「ここい〜な」
活動地区	多摩平・大坂上・神明・旭が丘・豊田・東豊田
連絡先	TEL:042-502-6517
利用料	30分500円（/1名）
活動内容	電池や電球の交換・ゴミ出し（粗大ごみ）・廃棄物の整理・庭の手入れ・買い物代行 ・掃除・重量物の移動（小型家電移動）・散歩付き添い・ペットの世話・通院付き添い ・薬局代行・携帯やパソコンの相談・お話し相手等

●京王平山困りごとお助けクラブ

団体名	京王平山困りごとお助けクラブ
活動地区	平山1.2.3丁目
連絡先	TEL 担当：川崎
利用料	30分500円
活動内容	電池や電球の交換・ゴミ出し（粗大ごみ）・廃棄物の整理・庭の手入れ・買い物代行 ・掃除・重量物の移動（小型家電移動）・簡易な家具の組立・散歩付き添い・見守り ・手紙投函・本の返却・お話し相手等

●西宮下自治会 開始しているが、まだ依頼は少ない

●南平地区社協 地域ニーズ調査中。次年度に向けて動いている

→ほか5団体、立ち上げ検討中

4-1. 今後のスケジュール

手引きを活用し、活動を支援する第2層生活支援コーディネーターや支援団体向けに研修を開催し、効果的に本事業を展開できるようにします。

広報ひのや市ホームページ、LINE等のツールを用い、広く市民に本事業を周知します。

2月上旬	包括の第2層生活支援コーディネーターに手引きの中間報告と意見交換 →手引きに反映
3月上旬	第2層コーディネーターと支援団体に手引き(完成)を提案し、意見交換
3月下旬	手引きを活用し、第2層コーディネーター向けに研修開催
4月	補助事業開始 広報や市ホームページ、市LINE等にて周知
4月下旬以降	支援団体向けに第1回参加研修

★運協委員の皆様にご協力いただきたいこと

支援を受ける方にとって安価で困りごとを解決できることや地域のつながりができ、見守りが広がるきっかけになります。また、活動する側にとって生きがいにつながり、フレイル予防の効果もあります。サービスを広められるよう周知のご協力をお願いいたします。